

危機的状況に出会った救世主 圧倒的な防音技術によって 未来を切り拓く



利用のきっかけ

★ コロナ禍になり、メイン業務のリフォームなどの受注が激減しました。経営状態が著しく落ち込んでしまい、このままだと「倒産してしまう」ということも頭をよぎりました。半ばあきらめ気分でしたが、弊社社員が INPIT 知財総合支援窓口を訪問したところ、支援担当者から「独自の防音技術は特許に値する。出願したらどうか」との提案を受けました。知財についての知識もなかったので、当初は「特許出願はしない」つもりでしたが、INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者の方々に背中を押されたこともあり、支援を受けてみようと思いました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

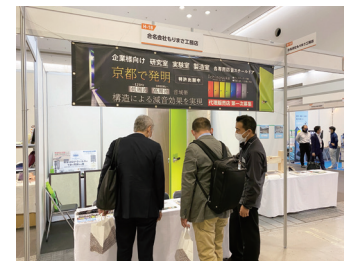
- ① 独自構造の防音技術に関する特許出願
- ② 次世代型防音ドア「Ichinosuke」の商標出願
- ③ 専門家によるオーダーメイド型の伴走支援「加速的支援」を実施

活用した専門家

弁理士

合名会社 もりまさ工務店

所在地	京都府宇治市
設立年	2015年
業種	建築工事業
従業員数	4人
資本金	50万円
ホームページ URL	https://www.morimasa33.com/



利用後の変化

2022年秋、特許を出願した後、金融機関が主催するビジネスフェアに出展したところ、たいへん大きな反響があり、これまでお付き合いのなかった業種や東京など遠隔地からの問い合わせが増え、現在商談中の案件も多々あります。「知財を活用できたことによって販路が増えた」というのが実感です。また、「特許出願中」だけでは、金融機関からの信頼度は低く、融資の話も途絶えかけていたのですが、INPIT から「加速的支援」の対象企業に選んで頂いたことから、金融機関からの信頼度が非常に高まりました。更に、2023年1月、京都府内の中小企業が持つ優れた新商品・サービスを認定・公表・PR し、京都府庁での率先購入枠の設定やその他販売促進を強力に支援する制度「チャレンジ・バイ」にも選ばれ、わずか半年ほどで、当社の事情は劇的に変化しました。

ご利用を検討される事業者さまへ



INPIT 知財総合支援窓口は、私にとってまさに救世主です。多くの中小企業は「自社に知財はない」と思っているかもしれませんが、しかし、会社経営をしていれば、製品の改良点や工夫など、なにかしらのアイデアがあるはず。それを持って訪ねれば良いと思います。「根掘り葉掘り聞かれそうでいやだ」とか身構えずに、ありのままを話すべきです。INPIT 知財総合支援窓口の人たちは、仕事を乗り越えてご自身の知識を話してくれ、背中を押してくれます。そういうところが身近にあるのですから、経営が苦しいと嘆いているよりも、まずは訪問するべきだと思います。

合名会社もりまさ工務店 代表執行社員 森眞稔様